

令和7年度 音楽科 年間指導計画 第5学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	題材名	時数	題材の目標	他教科等との関連
前期	4	1.歌声をひびかせて心をつなげよう	4	(1)曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技術を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、強弱を聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。	学級活動
	5	2.音の重なりを感じ取ろう	6	(1)曲想及びその変化と、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能や、各声部の楽器の音や歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)旋律、音の重なりなどを聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)楽器の音や歌声が重なり合う響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる音の重なりを観しむ。	
	6・7	3.いろいろな音のひびきを味わおう	8	(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズをつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技術を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)音を合わせて表現したり、オーケストラの音楽を聴いたりすることに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器やオーケストラの響きに親しむ。	
	8・9・10	4.和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう	7	(1)曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズをつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能や、呼びかけとこたえや変化など、これまで学んだ音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。 (2)旋律、音の重なり、和音の響き、呼びかけとこたえなどを聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体まとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもったりする。 (3)和音の響きやその移りわりを感じる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、和音の響きに親しむ。	
後期	10	5.曲想の変化を感じ取ろう	6	(1)曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技術を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)曲想の変化を感じる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、他者と力を合わせて一つの音楽をつくり上げる態度を養う。	
	11・12	6.詩と音楽との関わりを味わおう	6	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、強弱、フレーズなどを聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。 (3)詩と音楽との結び付きについて考える学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本語の歌曲などに親しむ。	国語
	1	7.日本の音楽に親しもう	6	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、強弱、拍などを聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。 (3)日本の音楽に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本の音楽のよさなどを味わう感性を育む。	社会
	2・3	8.思いを表現に生かそう 国歌・校歌	7	(1)曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能、各声部の楽器の音や歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、強弱、音の重なりなどを聞き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)思いを表現に生かす活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。	学校行事 総合的な 学習の時間
年間授業時数			50		